

はっぽう

議会だより

コロナ退散を願って
(1.10白瀑神社「どんと祭り」)



四方八峰 大久保岱 サルビアの会

(町を元気にする団体紹介シリーズ) No.7

大久保岱自治会長 田村 利満さん

大久保岱集落では、昭和50年代から農家など各家々で花壇に花を植える愛好者が見られるようになり、年々その数が増えて行くようになりました。

そのようなことから、自治会では、婦人会や老人クラブと協賛して花壇コンクールを実施し、順位(優、良)を決め、毎年秋の敬老の日になんで神社において祈願を行う祝賀懇親会で、肥料、軍手などの賞品を支給しながら表彰することが恒例行事となりました。

その後、集落単位で実施される県や郡主催の花壇コンクールに自治会として参加すると優秀賞を受賞、全国花いっぱいコンクールにおいても優良賞を受賞しました。さらに、平成8年頃には地域での活動が認められ秋田県のモデル花壇地区の指定も受けました。

自治会での花壇活動は、「サルビアの会」として行われるようになり、平成24(2012)年6月、皇太子様をお迎えし秋田県立中央公園「あきたスカイドーム」で開催された、第23回

「みどりの愛護」の集いでは、功労者国土交通大臣表彰を受賞、加藤前町長からも出席いただき皆で喜びを分かち合いました。

このような先人の功績を継承し、サルビアの会主体の「道ばた花の街」の活動を続けて行きたいという思いは強いのですが、近年の自治会内の人口減少に加え、活動する方々が高齢となるなどその活動は停滞するようになり、さらに今年はコロナ禍により自粛となりました。

そのような中ではありますが、町に要望していた「大久保岱コミュニティセンター」が間もなく完成し、2月からは指定管理を受け使用することとなります。避難場所として活用する防災面はもとより、地域コミュニティの中心となるよう地域住民皆で活用できるものと期待しています。

また、道ばた花の街、サルビアのように色鮮やかに咲き誇れる自治会、以前のような「サルビアの会」になれるように思いを寄せている、今日この頃です。(取材 皆川)



12月
定例会

- 新年挨拶…………… 2ページ
- 12月定例会ダイジェスト…………… 3～5ページ
- 町政を質す(一般質問要旨)…………… 6ページ
- 一般質問…………… 7～13ページ
- 付帯意見回答・臨時会…………… 14～17ページ
- 議会全員協議会・お知らせ・表紙の話題…………… 18～19ページ
- 四方八峰・編集後記…………… 20ページ

● 議会広報編集委員会
委員長 皆川 笠
副委員長 山本 原
委員 腰山 良
悦子 良 悦子 良 悦子 良



明けておめでとうございませう。早いもので議会広報編集を担当し、3度目の新年を迎えました。昨年はコロナ感染に始まりコロナ対策で終わってしまったが今年の干支は丑、丑年には我慢や発展の前触れがあるとも言われます。大きな困難に立ち向かう本年、経済や社会などの再構築に向けた効果的な対策を講じ、急ぐとも焦らず、着実に歩を進めることで必ず終着点を見ることが出来る。新しい年が明るく平穏な一年であってほしいと願うばかりです。力を合わせて乗り切ろう！
(記 皆川鉄也)

編集後記

健康管理システム 新型コロナウイルス対応 改修業務委託料を追加補正

(令和2年度一般会計補正予算(第5号))



新型コロナウイルスワクチン接種事業が着々と進んでいる

12月 定例会 ダイジェスト

12月定例会は12月16日(水)から18日(金)の3日間の日程で開催し、条例改正や補正予算等の19議案が上程されました。

そのほか、陳情4件を審議しました。

一般質問では、7人が登壇し、町政を質しました。

【補正の内容】
健康管理システムを新型コロナウイルス感染症のワクチン完成後、ワクチン接種に係る接種勸奨の個別通知作成機能の追加や予防システム台帳を管理するため47万3千円を追加補正するもの。

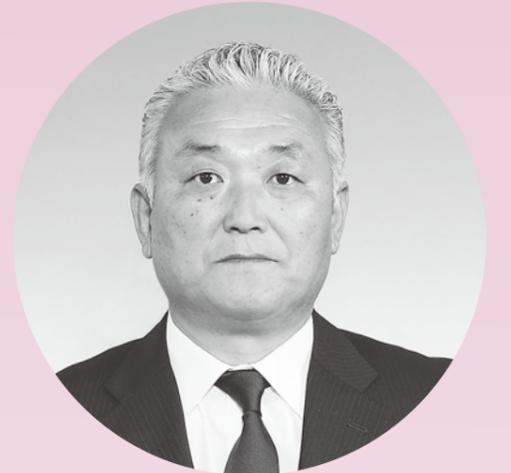
【議員から町へ(質疑)】
問 この業務についてももう少し詳しく説明してほしい。
答 (県では) 新型コロナウイルスワクチン完成後に全住民に接種させたい狙いがあるようだ。

【制定の内容】
町村の選挙における立候補に係わる環境の改善のため、選挙公営の対象を拡大することを目的に公職選挙法の一部改正された。これにより、選挙運動用自動車、ピラ、ポスターの公費負担額等について規定された。

また、今回の公職選挙法の改正により町議会議員選挙についても、供託金(15万円)が必要となったほか、禁止されていたピラの頒布が解禁された。

【用語説明】
供託金 立候補の届け出に際し、預け入れる金銭。

五年の新年を迎えて



八峰町議会議長 門脇 直樹

新年明けましておめでとうございます。

昨年はこの場で過去の東京オリンピックでの幼い頃の思い出とともに、来る東京オリンピックへの楽しみを語りました。

まさかあの時、これから始まる1年が、世界中をこれほど変えてしまうとは、想像もできませんでした。わずか2カ月ほどの間に世界中の人々が見えない恐怖に立ち向かわなければなりませんでした。現在に至っ

ても、尚、予断を許さない状況の繰り返しであります。自分としてはこのコロナ禍で、田舎での生活がどれほど豊かであるかということを知ることができました。改めて故郷の素晴らしさを感じる事ができた1年でした。

しかしながら、コロナの影響のみならず、待ち焦がれたハタハタ漁は、接岸が例年より2週間も遅れ、記録的な不漁に終わりました。皆さんのご家庭においても、

例年であれば食卓に並ぶ自家製ハタハタ寿司もなく、我が子や孫の成長を画面の向こうで確認せざるを得ない、そんな例年とは違うことばかりの、年の始まりであったのではないのでしょうか。

また、年越し寒波で、正月期間はずっと大雪と低温により、必然的にステイホームされていた方も多かったと思います。

歴史の中で疫病が発生するたびに先人たちは、その知恵と勇気を以て繰り返し乗り越えてきました。現代でも医療従事者はもちろん、多くの方が、様々な苦難の中、誰かのための努力を日々繰り返しておられます。

コロナ禍の一変した新しい生活様式で、それぞれの業界で先行きの不透明感が募っている年明けですが、一日も早い収束を願いながら、今年も町政の安定した

運営とさらなる発展のため頑張ってください。

新年恒例の箱根駅伝において、歴史に残る大逆転劇を見せてくれた駒澤大学の最後まで諦めず、負けない力を信じて進む姿を目の当たりにし、改めて精進を誓う年明けでした。

本年も、町民の皆様のご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。

八峰町議会議長 皆川 鉄也
議員 水木 壽保
同 山本 優人
同 奈良 聡子
同 腰山 良悦
同 須藤 正人
同 芹田 正嗣
同 見上 政子
同 菊地 薫
同 笠原 吉範
同 芦崎 達美
(議席番号順)

「議員から町へ(質疑)」

問 没収された供託金の取り扱い。
答 供託金は町に帰属することとなっているので一般会計に収納される。

問 議員の場合、ビラが1600枚というふうに限られているが、このビラの制作は会社とか支払先がはっきりした所でないか。
答 条文に「ビラの作成を業とする者に支払うべき金額」ということなので主に印刷業になると思うがこの方に直接支払うことになる。

反対討論

見上 供託金というものは立候補者の乱立を防ぐために国が作ったものである。女性や若者を立候補しやすくするためには、金額のハードルを設けないでほしい。

ビラの枚数制限も、立候補者が自分の政策を訴える場合に制限することなので民主的な方法ではない。

陳情

継続審査となった陳情

●安全・安心の医療・介護実現と、国民のいのちと健康を守るため、国に意見書を提出の陳情
(提出者 秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 石川洋基)

●75歳以上医療費窓口負担2割化の中止を求める国への意見書提出の陳情
(提出者 秋田県社会保障推進協議会 会長 佐藤幸美)

●「新型コロナウイルス対策を強化し、安心して介護を継続できるようにするために介護施策の改善を国に求める」意見書提出の陳情
(提出者 秋田県社会保障推進協議会 会長 佐藤幸美)

●「新型コロナウイルス感染症を教訓に感染症対策を含めた地域両構想に見直しすること」を国に求める意見書提出の陳情
(提出者 秋田県社会保障推進協議会 会長 佐藤幸美)

町長が専決処分(＊)できる事項を指定した条例を新たに作成しました

(八峰町長の専決処分の指定に関する条例)

「制定の内容」

損害賠償案件が発生した場合、これまでは議会定例会において議案を提出し、議決を得て処理をしている。損害賠償案件としては、被害者所有の自動車に対して損害を与えた事例が最も多く、被害者は速やかな修理を望んでいる。しかし、事故が発生した時期によっては事故発生から支払い完了まで約3カ月の期間を要することもあった。このような事態を解消し、損害賠償を速やかに終結させるため。

また、慣例的に専決処分としてきた選挙費や緊急性がありかつ変更割合が低い議決を要する変更契約も、町長が専決処分できる事項として指定した条例を制定する。

「議員から町へ(質疑)」

問 変更契約について上限や緊急性とかあるが、これを条例化してしまったら常態化してしまうのではないか。専決処分というのは議会へは後で報告ということだけなのでいかなものかと思われる。

答 契約の緊急性について十分に庁内で判断をして恣意的に使われないための規定。金額が該当するものであっても緊急性のないものは今ままでおり議会に諮って決定していく。

反対討論

見上 町当局の説明では常態化してしまう恐れがある。臨時議会を開催し、その都度議会に報告して承認を得るべきである。

「用語説明」

専決処分(＊) 議会の議決が必要な事項で、時間的余裕がない場合や軽易な事項を町長の裁量で処分すること。

賛否が分かれた議案等の採決結果

○：賛成 ●：反対

賛否が分かれた議案等を掲載しています。

議案	議員氏名											門脇直樹	議決結果
	水木壽保	山本優人	奈良聡子	腰山良悦	須藤正人	芹田正嗣	見上政子	菊地 薫	笠原吉範	芦崎達美	皆川鉄也		
八峰町議会議員及び八峰町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例制定	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	議長は採決には加わりません	可決
八峰町長の専決処分の指定に関する条例制定について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○		可決
八峰町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○		可決



皆川 鉄也 議員

皆川 議員 これまでの米政策は主食用米需給安定を図る米依存脱却が進められ、肝心のコメ消費拡大がおろそかになってきたと感じる。こうした中、高いブランド力を持つ新しい品種「サキホコレ」が華々しくデビューし、知事はじめ関係者の期待が伺われる。この機会を逃すことなくチャンスと捉え、あきた米のさらなるPRが必要。さらに農業振興を図るため、畜産や果樹に

町長 町長 今一度思いをはせ、肉用牛や養豚、養鶏の企業誘致や果樹の6次産業化など考えられるが、国内の産地間競争に打ち勝つため、今後も農協や集荷業者が取り組んでいる事前契約で取引の拡大や安定化を図り、新たな販路開発に向けた取り組みを支援する。

町長 町長 「サキホコレ」はあきた米のさらなる消費拡大のチャンスであり、県が取り組む様々な活動に積極的に協力した

町長 町長 畜産業の誘致企業は誘致する際の場所、臭い対策、汚染水対策の課題も多く大変難しい課題だ。果樹などの6次産業化については様々な補助事業で講演



あきた米のさらなるPRを

ここが聞きたい

ただ 町政を質す!!

7人の議員が一般質問

定例会2日目・3日目の一般質問では7人の議員が町政について質問しました。

p7 皆川 鉄也 議員

- 1 コロナ感染対策と新年度予算編成について
- 2 コメ消費拡大と農業振興について

p9 奈良 聡子 議員

- 1 再エネ海域利用法に基づく法定協議会について
- 2 親子が安心安全に遊べる屋内施設について

p11 腰山 良悦 議員

- 1 新型コロナ禍における今後の支援は
- 2 岩館子ども園跡地における防災センター（仮称）建設の方向づけについて

p13 菊地 薫 議員

- 1 コロナ対策について

p8 見上 政子 議員

- 1 陸上風力発電の電波障害について
- 2 コロナ禍における住民の負担軽減について
- 3 巡回バスの試行運転の結果について
- 4 通学バス定期券発行と、秋北バス拡張について

p10 山本 優人 議員

- 1 風力発電事業について
- 2 (仮称)産業振興条例の制定について

p12 芦崎 達美 議員

- 1 公用車の車庫について
- 2 公用車、各課の使用台数は適切か

※下線の質問については誌面の都合上掲載できなかったものです。

一般質問とは？

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町政執行における所見や疑義について質問できるものです。

当町では、効率的な議会運営のため質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」とし、議員はその内容に添って質問します。質問時間は1人につき質問答弁を含め55分以内で完了することとしております。再質問からは、一問一答方式が採用されており時間内であれば何度でも再質問ができます。

コロナ感染症対策と新年度予算は

町長 息の長い取り組みと「第2期創生総合戦略」の実現

皆川 議員 新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見えない中、若い大人を増やす、子育て世代を応援する、農林漁業の担い手確保と育成を基本とした方針が示された。地方交付税の減少、財政調整基金の取り崩し等の財政事情を見ると、一般財源の減少で多く

町長

町長 これまで国の歳入は見込めない。これまでコロナ関連で実施できなかった事業の検証も含め、新年度予算をどのように編成するのか。

コメ消費拡大と農業振興どう図る

町長 新たな販路拡大と6次産業化の促進

皆川 議員 これまでの米政策は主食用米需給安定を図る米依存脱却が進められ、肝心のコメ消費拡大がおろそかになってきたと感じる。こうした中、高いブランド力を持つ新しい品種「サキホコレ」が華々しくデビューし、知事はじめ関係者の期待が伺われる。この機会を逃すことなくチャンスと捉え、あきた米のさらなるPRが必要。さらに農業振興を図るため、畜産や果樹に

町長 町長 今一度思いをはせ、肉用牛や養豚、養鶏の企業誘致や果樹の6次産業化など考えられるが、国内の産地間競争に打ち勝つため、今後も農協や集荷業者が取り組んでいる事前契約で取引の拡大や安定化を図り、新たな販路開発に向けた取り組みを支援する。

町長 町長 畜産業の誘致企業は誘致する際の場所、臭い対策、汚染水対策の課題も多く大変難しい課題だ。果樹などの6次産業化については様々な補助事業で講演

町長 町長 畜産業の誘致企業は誘致する際の場所、臭い対策、汚染水対策の課題も多く大変難しい課題だ。果樹などの6次産業化については様々な補助事業で講演



見上 政子 議員

コロナ禍自営業者に 支援を

町長 さらなる支援必要

見上 長引くコロナ禍の影響を受けている自営業者に支援の考えは。

町長

新型コロナウイルスの感染拡大が今なお続いており、第1波・第2波よりもさらに高い第3波が到来し、宴会やイベントなどの中止が相次ぎ、関連する小売業やサービス業などへの影響が広がっている。

と認識している。第3波の到来が及ぼす年末年始の経済活動への影響を想定したときに、個人事業者等も含めたさらなる支援が必要と考えている。

現在の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の中で、「第2次事業継続臨時交付金」(**)として対応することを検討している。

巡回バス利便性の 向上を

町長 試行運転やアンケートにより対応

見上

巡回バスの試行運転の結果や町民の声を反映させ、利便性の向上を。

町長

試行運転で得られた課題等については、地域公共交通会議で検討することとしているが、巡回バスについてはスクールバスとの効率的な連携という課題もある。

り一朝一夕ではできない大変複雑で難しい大事業である。改善を重ねながら利用しやすく効率的な地域公共交通システムを構築できるよう、令和3年度も引き続き試行運転を実施し、12月に実施した利用者へのアンケート結果についても広報で知らせたい。



児童・生徒の通学にスクールバスを使用しているが...

路線バスを スクールバスにも

町長 運行時間、本数増困難

見上

従来の路線バスを通過時間帯に合わせ、学校付近にバス停を設置し、児童・生徒の定期券を負担することで、路線バスの存続とスクールバスの費用対効果が生まれるのでは。

町長

小中学校登下校時間とルートに違いがあり、これに合わせた路線バ

スにするには運行時間を大幅に見直すとともに、運行本数を増やす必要があり、利用者が少ない中では困難である。

定期券については、町が目指しているバス事業者と連携したスクールバスも含めた巡回バスのシステムが明らかになってきた段階で検討する。

法定協議会で 何を述べていくか

町長 振興策必要の立場から 意見述べる

奈良

洋上風力発電について再エネ海域利用法に基づく八峰町・能代市沖第1回協議会が開催された。2回目以降どんな意見を述べていくのか。漁協代表者は漁業者の意見を十分汲み取って協議に臨んでいるか。

の問題」と発言したが、町民代表として適切な意見と言えるか。

町長

漁業者や地域住民の不安を和らげるような、具体的な地域及び漁業振興策が必要という立場から意見交換していきたい。

漁業者の意見については北部地区運営委員会で協議するとともに、

遊休施設リノベで 親子の遊び場を

町長 整備困難 代替施策の検討続ける

奈良

峰浜地区にはポンポコ山公園パークセンターがあるが、八森地区にも親子が安心して遊べる屋内施設があればという声が多い。遊休施設のリノベーション(*)などで対応できないか。

町長

現在、八森地区の遊休施設で十分なスペースが確保できるのは、旧岩館小、旧八森小学校舎のみ。どちらも老朽化が進み大規模な改修が

必要となるので、遊休施設の活用による整備は難しい。なお、新たな施設整備に代わる子育て環境の充実に資する施策については、引き続き検討していく。

「景観は主観の問題」という発言に対する議員の指摘は、持論であっても、中立的な立場で発言すべきとすることを受け止め、次回から気を付ける。

奈良

協議会の会議内容をその都度協議会に報告してほしい。

町長

できるだけ機会を設けて報告したい。



八森地区にも子ども達の遊び場がほしい

町長

応募してももらえるような工夫を検討していく。若者の意見をまちづくりに反映させることには大賛成だ。

【用語説明】

リノベーション(*)：既存の建物に大規模な改修工事を行い、用途や機能を変更して、性能を向上させたり付加価値を与えること。



奈良 聡子 議員

また、第1回協議会で町長は「景観は主観

まちづくりの大きな課題として、若者の意見をまちづくりに反映させることには大賛成だ。



山本 優人 議員

風力発電は地元への 経済支援が不可欠

町長 地域・漁業振興策の 議論に臨む

山本 洋上風力法
定協議会で
は公募中の3海域
（「能代市、三種町及
び男鹿市沖」「由利本
荘市沖（北側・南側）」
の内容を踏襲するの
ではなく、地元が風力発
電設置の受入れを同意
するには、漁業など産
業発展、地域経済に貢
献がなければ住民の理

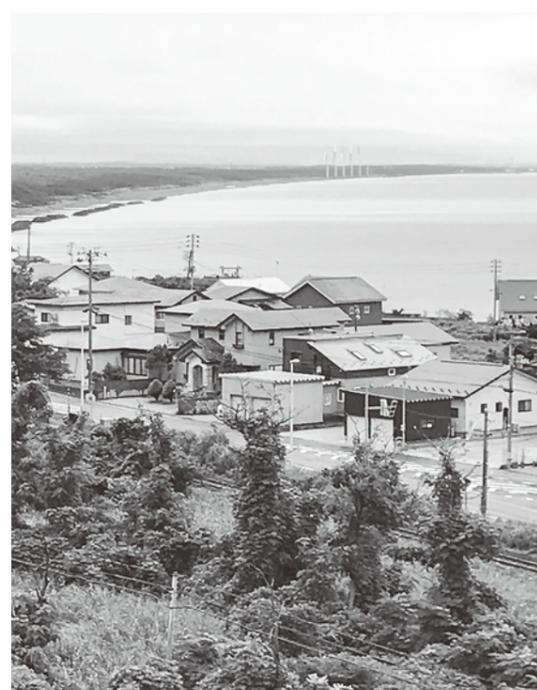
解は得られない。景観、
騒音、低周波などの不
安を抱えたままでの受
入れには、事業者が住
民サービスにいかに関
済協力をするかにかか
っている。
能代港北側からの海
面での操業において少
なからず影響を受ける
八峰町漁業者との共存
共栄や日本海の眺望の

変容によるストレスな
ど、八峰町民の景観へ
の代償としては少なく
ない額と見積もられる。
町長 具体的な要
望は入札で
選定された事業者との
調整になり、八峰町へ
挨拶に来る事業者に対
しては、住民の暮らし
や自然環境や景観に配
慮すると共に、環境ア
セスメントを確実に実
施、住民と適切なコミ
ュニケーションを図り
住民の不安等に対し丁寧な説明などをお願い
している。

山本 すでに公募
の始まった
由利本荘、能代・三
種・男鹿沖では売電収
入の0・5%の基金へ
の出捐で妥結している
ということに対して不
満がある。いかにして
事業者から協力を得
て、養殖漁業など安定
した漁業生産で担い手
が生まれる環境を作る
か。事業資金を得る努
力が必要だ。

町長 設置される
基金へ20年
間の売電収入の0・5
%を目安に出捐し、地
域や漁業との協調策を
講ずること。関係漁業
者や学識経験者等の意
見を聞きながら、発電
による漁業への影響に
配慮するための漁業影
響調査を行うことなど
が取りまとめられてい
る。
漁業の衰退が非常に
厳しい状況の中で、漁
業者が今回を契機とし
た漁業振興策で持続的
な漁業経営を続けられ
る選択肢もあるので、
推移を見守っていく。

山本 国は買い取
り価格を將
来的には8円、9円ま
で下げる考えだ。これ
では海を明け渡す漁業
者の意思が報われない
漁業者、まして町民に
とつてもいろんな使い
方ができる財源となる。
町長 法定協議会
では、地域
振興策及び漁業振興策
を議論するよう発言し
取りまとめた事項が真
摯に守られるよう協議
会の場に臨む。



洋上風力事業は町民にとって代償が少なくないはず

新型コロナウイルス禍における 今後の支援は 町長 「第2次事業継続 臨時交付金」を検討

腰山 新型コロナ
の感染が全
国的に拡大するなか、
その影響により町の景
気も依然として低迷し
ているように感じる。
町は今後も継続して事
業者や収入減になった
町民の支援が必要と思
うが、町は現状をどの
様に認識し、支援を考
えているか。

次に、これまで各種
イベント・事業の中
止・延期により減額と
なる補助金はどのくら
い見込まれるのか。ま
た、それを今後コロナ
対策の財源とする考え
はないか。
町長 第3波が到
来し感染拡
大が今なお続いており
町においても小売業や

サービス業などへの影
響が広がってきている
と認識している。
経済対策については
雇用の維持、個人事業
者等も含めたさらなる
支援が必要と考え、現
在の「地方創生臨時交
付金」の中で、「第2
次事業継続臨時交付
金」として対応するこ
とを検討している。ま
た、住民への支援につ
いては相談が町の総合
対策室や商工会へも寄
せられていない状況な
ので国や近隣市町村の
（動向に着目する。
事業予算の減額は合
計で約2000万円と
なっている。今後のコ
ロナ対策の財源は国か
らの交付金を有効に活
用しながら対応してい
くこととし、不足する
ようであれば町の財源
を投入する。

岩館防災センター 建設計画は 町長 令和3年度より 2カ年事業として着手



岩館防災センター（仮称）建設予定地

務委託料を含む補正予
算を提案しており、建
物の規模や機能を検討
するほか、地盤調査を
行うこととしている。

腰山 地域住民へ
の説明会を
開催し、計画を進めて
いくことが大事では。

町長 基本設計を
まとめ上げ
る中で町民の意見を聞
きながら取りまとめて
いきたい。



腰山 良悦 議員

腰山 岩館子ども
園跡地の、
地域消防団から要望の
あった防災センター
（仮称）建設は、町の
計画では、改善センタ
ー、体育館の解体を見
据えて検討するという

ことだが、町はどのよ
うに考え、どのような
計画を進めるのか。
町長 令和3年度
及び4年度
の2カ年事業として着
手したいと考えている。
本定例会に基本設計案



菊地 薫 議員

菊地 新型コロナウイルスの感染者、重症者、そして死者の数が、毎日のように更新され国、地方とも戦々恐々としている。現在のこの状況を町長としてどのように分析しているのか。

町長 我が国において、ナ対策の交付金事業の効果検証、そして支援策は十分なのか。「第2波」の2倍近くの「第3波」が到来し、まだピークが見えない状況にあると認識している。「新型コロナウイルス

「第2次事業継続臨時交付金」の支給基準を一部見直しながら、

今後の経済対策については「事業継続臨時交付金」の支給基準を一部見直しながら、

「第2次事業継続臨時交付金」を検討すると

必要がある。車庫建設には地方債が使えないため、財源の調達も難しい状況。車庫による

公用車の保有台数は適切か

町長 一元管理を検討

芦崎

町長

〔用語説明〕

カーシェアリング（*）：特定の自動車を

共同使用するシステム。

ともに、国の第3次補

正予算等を見極めなが

ら、町内事業者への支

援策をタイムリーに構

築したい。

菊地 大学生等への支援はす

でに実施しているが、

依然として厳しい状況

にある。これまでの支

援が適当か再検討が必

要。

町長 大学生やひ

とり親など、

コロナ禍が長引いたこ

とにより影響を受けた

家庭への支援をもう一

度検討する。

菊地 第2波、第

3波で感染

が拡大している。

防災無線での注意喚

起を改めて定期的に実

施してはどうか。

町長 県外との往

来、あるいは



新型コロナウイルス感染防止のためマスク姿で歩く人々



青空駐車場の公用車

適切な予算執行に向けて

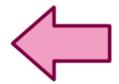
(決算審査付帯意見回答)

9月定例会で決算特別委員会から、町当局に提出した付帯意見についての回答です。(※回答は令和2年10月30日現在のもの)

意見1

自主防災組織の育成・強化を

自助・共助を自ら率先して行う自主防災組織は、災害発生時に非常に重要な役割を果たすなど、全国各地で組織され注目されている。自主防災組織の育成強化に努めること。



答

全自治体組織化に向けて取り組む

現在、町の自主防災組織は39自治会町内会のうち岩館第1自治会、岩館第2自治会、滝の間自治会、樺台自治会、田中自治会の5自治会が組織されており、組織率は約13%と低く、組織率の向上が喫緊の課題となっている。これまで、春と秋の行政協力員会議で自主防災組織の立ち上げについてお願いしており、令和2年度中に八森第2自治会が組織化に向けて検討している。

今後、昨年資格取得した防災士3名と町



自主防災組織率の向上を（行政協力員会議）

意見2

大規模災害時の避難所の設営・訓練等の実施を

大規模災害や複合型災害などによる広範囲での避難や、さらにコロナ禍における避難などを想定した避難所の設営、そのための訓練等を行うこと。



答

今年度は職員を対象に実施

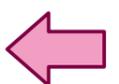
町の地域防災計画と避難所開設・運営マニュアルに基づき、円滑な避難所運営に当たることが目的とした訓練を当初は、5月26日の町の総合防災訓練の中で行う予定だったが、新型コロナウイルスの影響で最終的に中止となった。新型コロナウイルス禍での災害発生に備え、今年度は職員を対象に

新型コロナウイルス対策を取り入れた避難所の運営訓練を実施する。また、新型コロナウイルス感染症防止対策をすすめている感染予防保護テント・段ボールベットなどの感染予防備蓄品が整った時点で、再度新型コロナウイルス禍における防災訓練を実施する。

意見3

女性消防団員の増員・確保を

女性消防団員の増員・確保に努めること。



答

一層PRに務めていく

現在、町の女性消防団員は6名加入しており、実際の火事現場での消火活動後方支援、大規模災害時の避難所での避難者支援などの活動を行うこととしている。

増員確保に向けて、年1回チラシ等を全世帯に配布して加入促進を進めているが、新規加入者がいない状況である。

今後は、女性消防団の活動について、一人暮らしの高齢者宅への防火訪問の強化と消火活動時において避難した住民への声かけなど、女性消防団員に特化した活動の見直しを検討するとともに、女性消防団の活動内容がより一層わかってもらえるようなPRに努めながら、女性消防団員の増員確保を図っていく。

意見4

ふるさと納税の目玉となり得る返礼品に力を入れよ

ふるさと納税の受け入れ額が大幅に減少している。目玉となる返礼品の開発を支援するなどし、魅力ある返礼品の充実に努めること。



答

補助金を周知しながら、体験メニューの追加を検討

令和2年度の9月末までの寄附状況は、241件、413万6千円となっており、前年対比では、件数で98.8%の3件の減、金額では75.1%の137万2千円の減となっている。

また、目玉となる返礼品開発については、町内に事業所を有する企業または団体等が、地域資源を活用した新商品の開発、パッケージやホームページのデザインを含めた既存商品の改良、ポスター作成等の商品の宣伝や販路開拓を応援する「八峰町地域資源活用商品開発等支援補助金」を周知しながら、引き続き

寄附額減少への対応策としては、これまで1社であった寄附申し込みのポータルサイトをより多くの方々の目にとまるよう、新たに「さとふる」と「楽天ふるさと納税」の2社



ポータルサイトを増やして運用している

き参加事業者及び特産品を募集するほか、体験メニューの追加を検討していく。また、企業版ふるさと納税についても準備を進めており、令和2年度中には制度を創設できる見込みである。

意見5

ジオパーク事業の見直しを

長年展開してきたジオパーク事業での成果が町の活性化に現れていると感じられない。次の認定までに事業の再検討や見直しを行うこと。

答

ふるさとに自信と誇りを持ってもらうために続けていく

八峰白神ジオパーク事業は、10年前の平成22年にジオパーク構想が計画され、同年5月に発足した「八峰町ジオパーク推進協議会」を中心とした活動が評価され、8年前の平成24年9月に「八峰白神ジオパーク」として日本ジオパークに認定された。この認定の際の総評では、「世界自然遺産である白神山地に密接に関連し、世界自然遺産であるが故に容易に立ち入れない白神山地の地質を海岸線付近で学べる大きな魅

るための活動が活発に展開されている点が評価された。しかし、新規認定時の指摘事項である、テーマとストーリーの明確化、ジオサイトへの案内看板、わかりやすい解説板の設置、ジオストーリーづくり、ガイドスキルの向上などが対応不十分であるとの指摘を受けた。その後の活動では、ジオパーク委員会の審査において効果として評価された部分をより一層進展させ、不十分であるとされた課題の克服を目指して各種事業に取り組んできた。そして、平成30年秋に条件付き再認定に対する再認定審査を受け、平成31年1月の審査結果では、「課題克服に向けてアクションプランやマスタープランを作成した上で活動を推進したほか、拠点施設の整備が進み、ジオツアーも前進していることや、運営体制を見直し地域の実情に即して次年度から民間主導を

自治体主導に移行させてより安定的な運営を図っていくことが確認された」との評価を受け無条件の再認定を受けた。そして、平成31年4月からは、事務局を町産業振興課で担当することとし、同年5月の協議会総会において町長が協議会会長に就くことが決定され、先の認定審査での指摘事項について、その課題に取り組んでいる。現在当ジオパーク推進協議会が取り組むべき課題については、概ね4年間で解決すべき課題と概ね2年以内に解決すべき課題に区分されている。今年度中に完了しなければならぬ課題としては、(1)ジオパークのテーマとストーリーづくり、(2)ジオパークの可視性・解説板の設置、(3)ジオサイトの保全・保護、(4)組織運営体制、(5)ジオツアーの5項目がある。これらについては、ジ

オサイトの保全・保護に関する計画の一部が未実施であることを除き、その他全て着手済、もしくは完成の目処が立っており全体的には順調に進んでいる。また、概ね4年以内とされる課題については、(6)教育と研究の充実、(7)ジオパークプロダクト(ジオの恵み)、(8)防災教育がある。これらについては、新型コロナウイルスの影響から実施できていない事業もあるが、ジオパーク会員はもとより本事業に賛同している関係団体からの協力をいただきながら、2年後の再認定審査までに完了できるよう着実に事業を進めている。この度、決算特別委員会からの「ジオパーク事業の事業成果が町活性化に現れていない」という意見に対しては、ジオパークが目指している事業目的そのものは、地域経済の活性化だけではなく、ジオパークの視点から

みたとき、我が町の自然や歴史、文化などの貴重な資源は、かけがえない素晴らしい財産であることを町民に知ってもらい、自分が生まれたふるさとや自分が住んでいるふるさとに自信と誇りを持つてほしいという思いから取り組んでいるものである。今後も広報はつぼうでの連載寄稿を継続し、ホームページや各種SNSを活用した情報発信を行いながら、中学校など教育現場や自治会単位の出前講座を拡大するなど、より一層、普及啓発に努めていく。また、現在実施中のジオパークガイド養成事業では、来年度ジオパークガイドの会を新たに立ち上げることとしており、八峰町を舞台としたジオツアーを通じて、より多くの方々から八峰町へ来てもらえるよう努めていく。

意見6

スクールバスの運行基準の見直しが必要ではないか

熊の出没危険が心配される折、全児童が安全に通学できるようスクールバスの運行基準を見直し、適切な運行を行うこと。

答

新たに要綱を制定し、利用基準を定めたい

現状の運行基準は、平成21年度の八森小学校統合時にスクールバス検討委員会において定めたものである。現在の利用基準は、通年運行が学校統合により廃校となった地区の児童生徒を対象としており、冬季運行は通学距離が2キロメートル以上(小学生)、3キロメートル以上(中学生)の児童生徒を対象としているところである。昨今の熊の出没状況や交通事故防止及び不

審者対策、小学校においては児童数減少による集団登校班編成が困難な地区もあることから、新たにスクールバス運行管理要綱(仮称)を制定し、遠距離通学の児童生徒の利用基準を定めたいと考えている。具体的には旧学区域のほかに、八森小学校の乗車対象地区は滝の間、椿台、椿を追加、峰浜小学校の乗車対象地区は蝦夷倉、目名潟、萩ノ台、田中、沼田を追加、八峰中学校の乗

11月26日 臨時会

職員・三役・議員の期末手当0.05カ月減額を賛成多数で可決

主な質疑
(議員から町へ)

問 秋田県の人事院勧告を尊重しての減額ということであるが、これは尊重するのであって強制ではないのか。
子育て世代の職員に(今回の減額が)どれくらい影響があるか知りたい。

答 あくまで尊重であって義務ではない。影響額は、一般職の職員で総額168万円。年代ごとには集計していない。

町内小中学校にタブレット121台購入契約を可決

主な質疑
(議員から町へ)

反対討論
見上 このコロナ期で地方公務員というのは多大な労務負担があったのではないか。この点は評価しなければならぬ。
賃金を上げて、内需を拡大させ、社会貢献してもらおうことが必要。

賛成討論
皆川 当町には人事委員会がない。(人事院は)社会情勢なり経済情勢を見極めた上で人事院が勧告しているのであり、これを尊重しなければどこに給料の基準を置くのか大変不透明になる。
(賛成10・反対1(見上)で可決)

反対討論
それと、学校が休業になったときのような使い方を考えているのか。
答 八森小31台、峰浜小34台、八峰中56台の計121台。単価は税抜き1台3万6900円。
使い方については、家庭での通信環境や不正使用、故障時など問題が出てくると思うので今後決まり等について考えていきたい。

問 ランドセルのようにタブレットを入学時に支給したらどうか。
答 ゆくゆくはランドセルのような形で支給できればいいと思うふうには思っている。
ただ、現在リースのタブレットもあるため先々の話ということで考えていきたい。
(全会一致で可決)

議会の傍聴を 希望される方に

八峰町議会では、新型コロナウイルス感染症の感染予防のために、次のことを皆様をお願いしています。

1. 受付時に発熱や咳等の症状があるかどうか確認します。
症状がある場合には傍聴をご遠慮いただきます。
2. マスクの着用、アルコール消毒液による手指の消毒をお願いします。(消毒液は準備しています。)



白瀑神社「どんと祭り」



どんと祭りは、正月のしめ縄や松飾り、古いお守りなど縁起物を燃やす小正月行事です。

今年は密をさけるために、幸運を運ぶ「青竹もち」の販売を中止し、新型コロナウイルス鎮静祈願のお札を参拜者に配布しました。

議会全員協議会から 地域公共交通の今後の進め方について

当町では、10月5日(月)及び12月4日(金)に議会全員協議会が開催され、町から地域公共交通アンケートの集計結果及び今後の進め方や企業版ふるさと納税について等の説明がありました。

その中で、地域公共交通の今後の進め方についてお知らせします。



試行運転した巡回バス

各ルートの運行曜日および経由停留所

	巡回バス					
	Aルート	Bルート	Cルート	Dルート	Eルート	Fルート
曜日	月・木曜日	火・金曜日	月・水曜日	火・木曜日	水・金曜日	水・金曜日
始点	大久保岱	大槻野	大信田	長坂台	稲子沢	岩館2
↑ ↓	榎木沢	内坂	埴	石川	外荒巻	岩館2
	岩子	ウト坂下	仲村	外林	内荒巻	岩館1
	下岩子	沖の台	横内	大沢	大沢	岩館1
	蝙蝠淵	上目名瀧	大沢	上畑谷入口	小手萩	滝の間
	水沢	目名瀧	比八田	畑谷	強坂	横間
	下水沢	道の駅	小土	田中	鳥形	立石
	沢目駅前		栗山	道の駅	道の駅	茂浦
	カッチキ台		道の駅			中浜
	上高野々					椿
	道の駅					台
終点 (道の駅)						本館 道の駅

「おらほの館」からは、秋北バス路線を使用

議員から町へ (質疑)

(一部抜粋)

問 アンケート結果から、バスの運行本数が少ないことが利用しない理由の一つとなっている。
秋北バスの運行に合わせ「おらほの館」まで運行し、そこから能代まで行くということであれば運行

本数は増えることにはならない。
答 現在は、「試行運転」という状況で、既存の秋北バス路線はそのままとする。まずは、試行運転で二ノズを把握し、乗車した方から意見や希望、問題点を聞いてもらう。
また、現在は試行運転なのでバスの本数はそのままだが、二ノズがあれば秋北バスと協

議していきたい。
問 かねてからの課題であり、案でいいと思う。まずは試してみ、その結果改めるところは改め、バス会社とも協議しながら問題点を解決していくべき。
試行期間はどのくらいを想定し、意見集約等の結果をいつの時点で議会に報告するのか。
答 今週の木曜日(10

月8日)に公共交通会議が開催されるので、メンバーからも意見を聞きたい。そこで、この案で良いとなれば試行運転を行う。
11月からの年内を試行運転の期間とし、その後アンケート等を行い利用者の意見を集約し、それから報告としたい。

のバス路線を利用することを想定している。再質問 現行のバス時間よりも早い、病院に合う運行を秋北バスに依頼すべきでは。そうでないと誰も利用しない。
答 アンケートでも8時前に運行してほしいとの意見もある。ただ、バス事業者からは時間を変更することは非常に難しいという話をもらっている。まずは、試行運転をしながら、「現在の時間では遅すぎて使えない」という意見をいただき、バス事業者に運行時間について変更できないか求めていくことになる。バス時間の変更は、町だけの問題ではなく難しい。まずやってみて、その中で改善策をとって行きたい。

問 病院が利用目的だとすると運行時間が遅すぎる。病院の受付に間に合い、診療が午前中に終了するといったことを想定されていないか。
また、浜田・八森地区がルートに入っていない理由は。
答 運行時間については、とりあえず現行の岩館線のバスに接続することを前提に考えている。今後、利用者の二ノズや意見等を聞きながら秋北バスと運行時間の交渉も行っていきたい。
浜田・八森間は既存

問 既存の秋北バス

の運行と当町が目指している運行事業をいかにコラボできるかが、一番大きな問題である。秋北バスも利益につながるがないようであれば、バス路線は廃止し「町で自由にやってください」といった提示になる。運行時間を含め町の思い通りにこの事業を進めることは難しいと思う。秋北バスが撤退すれば現在の利用者が困ることになる。そういったことも含め協議の場に臨んでほしい。お互いが納得し、住民が利用しやすい事

業にしてほしい。
答 どういうふうにするかは、効率率で、住民の二ノズに配慮される公共交通システムになるのかを念頭に進めていきたい。いくらでも財政負担できるので、そういうこともないで、あらゆる場面を想定しながらなんとか実現を目指したい。
繊細な部分が多い事業であり、皆さんの意見を伺いながら進めていきたい。